

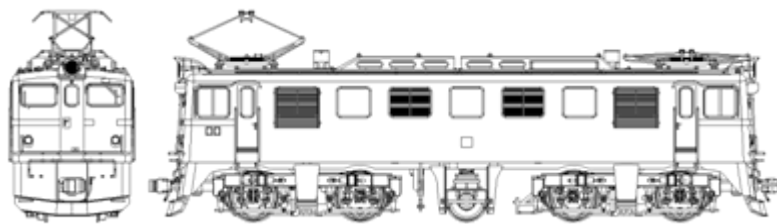
H-7-012	ED62-5・青色・ワイパー交換車・飯田線	予価:39,000円(税別)
		JANコード:130858 カートン内入数:12
H-7-014	ED62-17・JR貨物色・飯田線	予価:39,000円(税別)
		JANコード:130872 カートン内入数:12

商品形態	HOゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 紙箱入)
実車	国鉄では1950年代中ごろから交流電気機関車の製造で得られたノウハウを活用する形で、従来のF級機関車に匹敵する性能を持ったD級直流機関車を製造しました。1958(昭和33)年にED60とED61が登場しました。ED61は回制ブレーキを装備するタイプで、ED60よりも1.3m車体が延長されたほか、軸重が15tになりました。勾配線区に対応できるように中央線で活躍しましたが、より大型のEF64の登場に伴い、1974(昭和49)年から飯田線向けに中間台車が増設されたED62に順次改造されました。 ED62-5はED61-6を1976(昭和51)年に長野工場で改造して誕生した機関車です。国鉄分割民営化後も飯田線の貨物輸送廃止まで活躍し、1998(平成10)年に廃車されました。 ED62-17はED61-18を1978(昭和53)年に長野工場で改造して誕生した機関車です。国鉄分割民営化後にはJR貨物に承継され、ED62の中では唯一JR貨物色に塗装変更されて異彩を放ちました。現在は青色の国鉄直流電気機関車標準色に復元の上で大宮工場で保存されています。
商品概要	・マイクロエースHOゲージ(1/80・16.5mm)シリーズの更なる充実 ・小型電気機関車ED62をHOゲージプラ完成品で初の製品化 ・ヘッドライト、テールライト点灯。ON-OFFスイッチ付(スイッチは屋根モニターに内蔵) ・フライホイール付強力モーター搭載 ・手すりとは全て金属線を使用。取り付け済 ・金属製パンタグラフ搭載 ・他社製カプラー(KD-5)に交換可能 ・最小通過可能半径600mm(R600mm)

青15号とクリーム1号の国鉄直流機色・ED62-5



- ・中間台車付のED62
- ・ナンバー印刷済

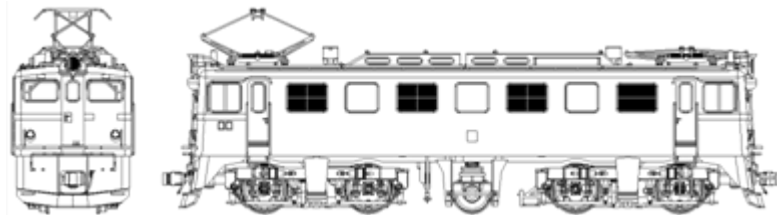


JR貨物承認済

濃淡ブルーとライトグレーのJR貨物色・ED62-17



- ・中間台車付のED62
- ・JRマーク印刷済
- ・ナンバー印刷済



JR貨物承認済

オプション	なし
付属品	なし